

シンポジウム開催！ 「シマから学ぶ、プライマリ・ケアの未来 ～いざ、素晴らしき離島医療の世界へ～」

近年、経済格差や孤独、孤立といった社会課題は、医療分野において特に、プライマリ・ケアの現場で健康の社会的決定要因（SDH）として山積している。少子高齢化や産業衰退が他の地域よりも早くから深刻化してきた離島は、日本の課題を最も凝縮しており、プライマリ・ケア医に期待される役割は非常に大きい。しかし、実際の離島医療現場は悲劇的なものではなく、医療者と島民の創意工夫により医療機関内外で多様なケアが生まれている。医療・福祉・行政などが垣根を超えて「この地域でより良く生きる」ことを共通の目標としてケアを共創する離島の取り組みには、日本全国が学ぶべき先駆的な考え方が多くある。

離島発の「シマ思考」を提唱する鯨本氏と、離島医療会議などにも関わる阿部氏、離島医療に取り組む医療職が、各々の視点でシマでの活動や紹介し、職種や年代に囚われずあらゆる人たちに向けて、これからの時代を心豊かに生きる方法を問いかけるシンポジウムを開催します。ぜひご参加ください。

日時：2025年6月21日（土） 10時15分～11時45分
第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会内シンポジウム
<https://plaza.umin.ac.jp/jpca2025/>

開催方法：対面（本シンポジウムは無料ですが、学会参加は有料です。
詳細は学会サイトをご覧ください）



登壇者

座長：金子 惇（横浜市立大学）

岩瀬 翔（神津島診療所・広尾病院）

演者：鯨本あつ子（認定 NPO 法人 離島経済新聞社）

阿部裕志（株式会社 風と土と）

小泉裕一（東京都神津島村保健センター 医療専門職チーフ）

高溝 譲（利尻島国保中央病院 事務長）

対象：医療者全職種、市民